

施工数は前年度比133%増に

エコジオ工法協

エコジオ工法協会(尾鍋哲也会長)は2日、松阪市内で第6回通常総会を開き、展示会への出展などPR事業を盛り込んだ2017年度事業計画などを承認した。

あいさつに立った尾鍋会長は「写真」は、エコジオ工法(碎石の地盤改良)の施



工数について、「16年度は前年度比133%増となった」と報告。「これからも住宅の地盤改良の受注数を増やしていき、施工代理店各社の施工数を増加させていきたい」と話し、「まだまだ工法の認知数は少ないと思う。今後もホームページの改良などをはじめ積極的なPR活動を展開していきたい」とあいさつした。

17年度事業は、広告や展示会出展などのPRに関する事業や研修会の実施などを予定している。

また、総会の後に引き続き開かれた事業報告会では、工法の普及状況や新たな市場性についての報告が行われた。